

資料 2

第4期朝霞市地域福祉計画・第4期朝霞市地域福祉活動計画策定に係る「関係団体アンケート」実施(案)

●調査の目的

市民アンケートや統計資料だけでは把握できない、地域福祉の当事者目線での課題や、団体活動の活性化に向けた課題、市の支援策等を把握することを目的に実施します。

●調査対象(予定)

分野	団体数	対象
子ども	13団体	子育て関係団体
障害のある人	17団体	障害者関係団体
高齢者	45団体	高齢者関係団体
地域福祉活動団体	16団体	地域福祉活動団体
合計	91団体	

●実施方法

事前に、90団体程度に本アンケート調査票を送付し、記入していただきます。後日、その記載内容や活動内容等を基に、各分野において、複数の団体が同じテーブルを囲んでやりとりを進める形式のグループヒアリングを実施します。

●グループヒアリングの日程

グループヒアリングの日程については、アンケート調査票をご回答いただいた団体に連絡し、日程調整の上、実施します。

第4期朝霞市地域福祉計画・第4期地域福祉活動計画

策定に係るアンケート調査票

本アンケート調査票は、第4期朝霞市地域福祉計画及び第4期朝霞市地域福祉活動計画策定にあたって、市内に組織されている福祉関係団体等の皆さまの、活動に関する現状や課題、今後の方向性、福祉施策についてのご意見等を把握し、計画策定の基礎資料とさせていただくものです。

ご回答いただいた団体の皆さまには、後日分野ごとのグループヒアリングを実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、ご協力をよろしく申し上げます。

令和元年 11 月

朝霞市長

富岡 勝則

朝霞市社会福祉協議会 会長 松尾 哲

— ご記入にあたって —

- ①ご記入は、ボールペン、鉛筆、シャープペンシル、万年筆でお願いいたします。
- ②ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れて **●月●日（●）までにポストに投函してください。**
- ③本アンケート調査票は紙ではなく、電子ファイルでも回答を受付いたします。電子ファイルでの回答をご希望の場合は、以下のメールアドレスまでお問い合わせください。

◎この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

朝霞市 福祉部 福祉相談課 地域福祉係

TEL : (048) 463-1594 (直通)

FAX : (048) 463-1025

メールアドレス : fukusi@city.asaka.lg.jp

I 貴団体について

■貴団体の概要についてお書きください。

ふりがな			
団体の名称			
代表者名		調査票記載者名	
会員数	() 名		
活動年数	() 年		
主な活動内容			
主な活動拠点	(例：メンバーの自宅、市民センター、市役所など)		

Ⅱ 貴団体の活動について

問1 貴団体では、活動を行う上で地域にある他の団体・機関等との交流や連携、協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市役所	2. 社会福祉協議会	3. 自治会・町内会
4. 子ども会	5. 当事者団体	6. 民生委員・児童委員
7. 保育園・幼稚園	8. 小学校・中学校	9. 高校・大学・専門学校
10. PTA	11. NPO・ボランティアグループ	12. 老人クラブ
13. 商店街	14. 介護・福祉施設	15. 病院・診療所
16. 警察・消防	17. 弁護士・司法書士	18. 企業
19. 商工会	20. 特になし	
21. その他 ()		

(問1で「1」から「19」または「21」のいずれかを選択した方にお聞きします。)

問1-1 交流や連携、協力関係があると回答した団体・機関等とどのような関係がありますか。

(自由記述)

(記入例：1. 市役所 補助金の交付を受けている。)

問3 貴団体では、団体の活動情報をどのように発信していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市の広報紙 『広報あさか』	
2. 社会福祉協議会の広報紙 『社協あさか』	
3. ボランティアニュース	
4. チラシやパンフレットの配布 (配布場所：))
5. ホームページ	
6. メンバーなどによる口コミ	
7. その他 ()

問4 貴団体では、団体の活動に必要な情報を主にどこから入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 知り合いを通して	2. 市役所の窓口・掲示板
3. 市の広報紙 『広報あさか』	4. 市のホームページ
5. 社会福祉協議会の窓口	6. 社会福祉協議会の広報紙 『社協あさか』
7. 社会福祉協議会のホームページ	8. 民生委員・児童委員を通して
9. 福祉サービスの事業所またはその職員	10. 他団体を通して
11. その他() 12. 特にない

問5 市民の方が気軽に活動に参加できるように、市民の方が貴団体の活動に単発で参加することは考えられますか。(1つに○)

1. 固定メンバーでの活動しか行えないため、そのような形は難しい	
2. 活動の内容によっては、単発で参加してもらっても良い (例えばどのような内容：))
3. 常に単発の形でよいので、参加してもらえると助かる (例えばどのような内容：))
4. その他 ()

Ⅳ 地域共生社会※の実現に向けて

※「地域共生社会」とは、社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものです。

問9 地域における福祉サービスの適切な利用の促進のために優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、それぞれに対して、貴団体で取り組み可能な事項があればお書きください。

(〇は3つまで)

番号	項目	具体的なアイデアがあればお書きください。	
1	福祉サービスの利用に関する情報提供		福祉サービスを必要とする地域住民に対する相談支援体制の整備
2	相談体制の確保		
3	支援関係機関間の連携		
4	社会福祉従事者の専門性の向上		支援を必要とする人が必要なサービスを利用することができるための仕組みの確立
5	ケアマネジメント		
6	ソーシャルワーク体制の整備		
7	成年後見制度、日常生活自立支援事業、苦情解決制度など、適切なサービス利用を支援する仕組みの整備		利用者の権利擁護
8	サービスの評価やサービス内容の開示等による、利用者の適切なサービス選択の確保		その他

9	避難行動要支援者の把握 及び日常的な見守り・支 援の推進方策		その他
10	その他 ()		

問10 地域福祉に関する活動への住民の参加促進のために、優先的に取り組むべき事項を選択してください。また、選択した項目に対して、貴団体で取り組み可能な具体的なアイデアがあればお書きください。(〇は3つまで)

番号	項目	具体的なアイデアがあればお書きください。	
1	活動に必要な情報の入手		地域住民、ボランティア団体、NPO等の社会福祉活動への支援
2	必要な知識		
3	技術の習得		
4	活動拠点に関する支援		
5	地域住民の自主的な活動と公共的サービスの連携		
6	地域の福祉の在り方について住民等の理解と関心を深めることによる主体的な生活者、地域の構成員としての意識の向上		住民等による地域課題への関心と意識の向上、地域福祉推進への主体的参加の促進
7	住民等の交流会		
8	勉強会等の開催		
9	福祉活動専門員、社会福祉従事者等による地域組織化機能の発揮		地域福祉を推進する人材のサポート
10	民生委員・児童委員活動の充実に向けた環境整備		
11	保護司活動の充実に向けた環境整備		
12	その他 ()		その他

問 1 1 包括的な支援体制の整備に関する事項として優先的に取り組むべき事項を選択してください。
 また、選択した項目に対して、貴団体で取り組み可能な具体的なアイデアがあればお書きください。
 (〇は3つまで)

番号	項目	具体的なアイデアがあればお書きください。	
1	地域福祉に関する活動への、地域住民の参加を促す活動を行う者に対する支援		「住民に身近な圏域」において、住民が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みることができる環境の整備
2	地域住民等が相互に交流を図ることができる拠点の整備		
3	地域住民等に対する研修の実施		
4	「住民に身近な圏域」において、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備		住民等による問題関心の共有化への動機付けと意識の向上、地域福祉推進への主体的参加の促進
5	地域住民の相談を包括的に受け止める場の周知		
6	地域の関係者等との連携による地域生活課題の早期把握		
7	地域住民の相談を包括的に受け止める場のバックアップ体制の構築		
8	協働の中核を担う機能		他機関の協働による市町村における包括的な相談支援体制の構築
9	支援に関する協議及び検討の場		

10	支援を必要とする者の早期把握		他機関の協働による市町村における包括的な相談支援体制の構築
11	地域住民等との連携		
12	その他 ()		その他

V 今後の活動に向けて

問12 身近に困っている人がいるとき、貴団体ではどのような手助けができますか、又はやりたいですか。現在の活動状況に限定せず、できること、やりたいことをお答えください。(自由記述)

(記入例：声かけ、ゴミだし等の手助け)

問13 今後、活動団体が増えていく、また継続していくためには、どのようなことが必要と考えますか。(自由記述)

問14 貴団体が活動をしていく上で、市役所・社会福祉協議会に望むことはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 団体や活動についてのPR | 2. 活動上必要な情報の提供 |
| 3. 活動場所の提供 | 4. 会員募集の支援 |
| 5. リーダーの養成支援 | 6. 経済的支援(活動資金など) |
| 7. 他団体とのネットワーク化 | 8. 団体運営上の助言 |
| 9. 設備・備品の充実 | 10. 成果の発表の場の提供 |
| 11. その他() | 12. 特になし |

問15 その他福祉環境をよくするためのご意見・ご提言等ありましたらお書きください。(自由記述)

問16 本ヒアリング調査票にご回答いただいた団体を対象に、後日分野ごとのグループヒアリングを実施する予定です。グループヒアリングへの参加意思をお答えください。(1つに○)

- | |
|-----------|
| 1. 参加したい |
| 2. 参加は難しい |

(問16で「1」を選択した方にお聞きします。)

問16-1 グループヒアリングのご案内をさせていただく際のご連絡先をお書き下さい。

[電話]	
[E-mail]	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。